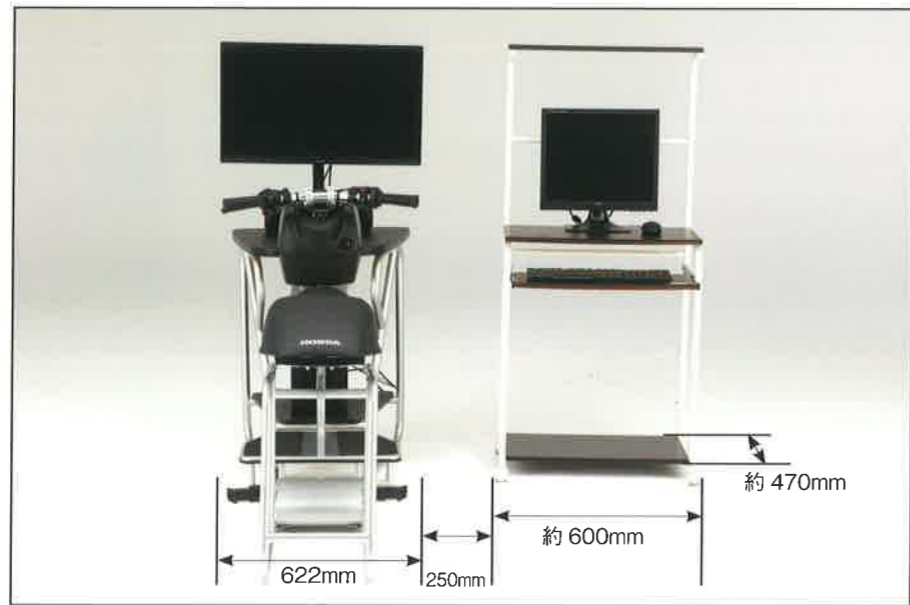


コンパクト、省スペース設計 ※600mmの間口で搬入可能です。



RIDING SIMULATOR



Honda ライディングシミュレーター 主要諸元

ハード			
映像部	■メインモニター 27インチ 1920 × 1080 ■操作モニター 17インチ 1280 × 1024		
環境設定	■2ch ステレオ 2スピーカー		
電源	■100V ± 10% 50/60 Hz		
総重量	■約 53 kg		
乗車部寸法	■奥行 1804 mm	■高さ 1350 mm	■幅 622 mm
操作卓寸法	■奥行 約 470 mm	■高さ 約 1320 mm	■幅 約 600 mm
ソフト			
教育ソフト (標準装備)	■法規走行体験編	■危険予測体験編	■ケーススタディ
その他ソフト (標準装備)	■高速道路体験編	■描画ウィンドウ	
環境設定 (標準装備)	■昼モード	■夜間モード	■霧モード

※本仕様は予告なく変更する場合があります。

本田技研工業株式会社
安全運転普及本部 教育機器課

〒350-1392 埼玉県狭山市新狭山1-10-1
TEL04-2955-5751

<http://www.honda.co.jp/simulator>



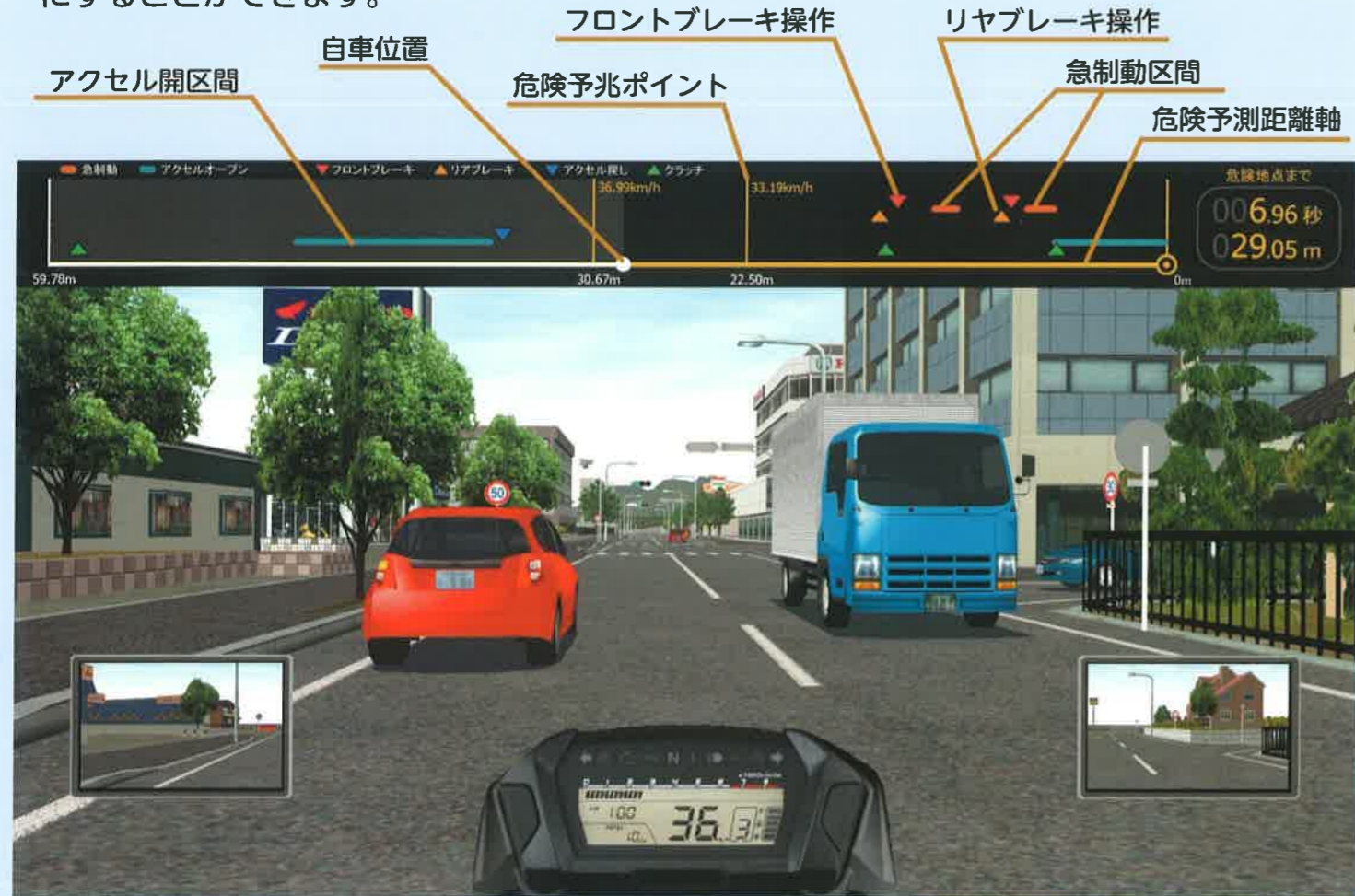
HONDA

「指導の表現力」を高めつつ 低価格・省スペースを追求した Honda ライディングシミュレーター

「危険予測表示機能」で走行時の操作を記録

※平成 25 年 10 月 18 日 特許出願 特願 2013-217839

- 危険予測体験コースにおいて、走行中どこで危険を感じ取ったかを記録して走行再生時に表示することができます。
- 危険感受性の度合いを確認して、危険の認知や判断が適切だったかを指導する上での参考にすることができます。



「他車との距離」を測定・分析

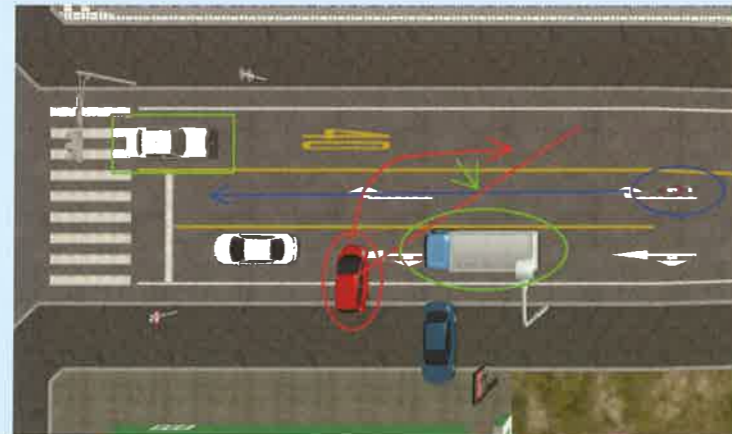
- 自車と他車の距離、自車速度から路面状況に応じた、運転の「余裕度」を分析・表示できます。

路面種類	限界減速度 G	自車速度での限界停止距離 m	余裕度
乾路面	0.7	14.1	○
濡路面	0.45	21.9	△
固雪路	0.15	65.6	×

余裕度 (目安) : × ≦ 1.0 < △ ≦ 1.3 < ○

「描画ウィンドウ」で指導ポイントをモニターに表示

- 任意の場面で、映像の中に図形を描きこむことで着目点を明確にし、受講生の理解を助けることができます。



場面ごとの再生で理解を深めるための「危険場面解説機能」

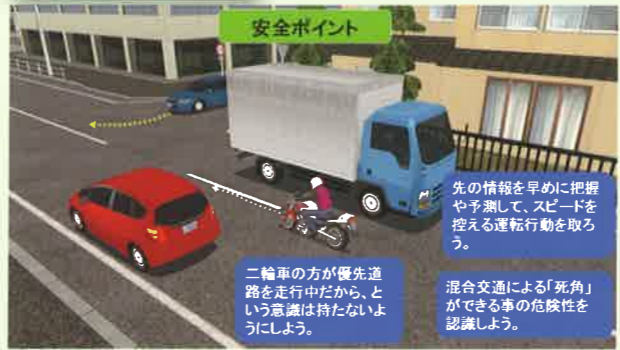
- 解説画像を使ってポイントを絞った教育と、より高いレベルで細かい指導ができます。危険および安全ポイントを図・文字などで表現しており、受講者により理解しやすくなっています。

解説画面



- 危険や注意箇所を円形枠などでわかりやすく表示
- 交通状況からの危険要因や各視点からの確認や認知状況を表示

アドバイス画面



- 危険場面での安全ポイントや、自車と危険車両の行動ラインを表示

体験の再生で危険なプロセスを確認

- さまざまな視点から確認し、混合交通での予知・予測の重要性を学べます。



自車 自車の視点



カメラ 上空からの視点



バード 360° 任意の視点



他車 任意の他車からの視点

「走行結果」をモニター表示

- 走行体験した結果をすぐにディスプレイに表示する事で受講者の印象が強いうちに指導内容を伝えられます。



※別途プリンターを設置することで「走行結果」を印刷する事が可能です。

省スペース・低価格を実現するその他の機能

- サイドビュースイッチ機能で、一時停止交差点などの左右の安全を確認することができます。



※約 10 秒間左右方向の映像をモニター上に表示します



- 簡単な操作でAT⇄MTの切り替えができます

